

平成21年6月23日

平成21年度 ファカルティ・ディベロップメント 合宿研修会実施要項（案）

大学教育総合センター
教育評価・改善部門

平成21年度ファカルティ・ディベロップメント合宿研修会実施要項

1. 目的

高等教育機関としての大学の理念や目標，教育課程のあり方，教育の内容や方法について教員の共通理解を深めるとともに，日頃接点の少ない他学部の教員相互の意思疎通を図ること，そして，教育の質の充実を図り，教員自身の「教育者」としての責任を相互に確認することを目的とする。

2. 内容

テーマ：学士力の育成と問題解決型授業の導入

（プログラムの内容については裏面参照）

今年度の合宿は，「いわて高等教育コンソーシアム」の協力を得て，岩手医科大学の佐藤洋一先生に講師としてきていただくことになりました。また，連携大学からの参加者も受け入れる予定です。

3. 参加者：各学部から8名以上（全体で50～60名程度）

※今回のテーマに興味をもたれている教員の参加をお願いします。

※「全期間」参加できる方に限ります。

4. 日時：平成21年8月20日（木）・21日（金）

（20日（木）8：30 集合 ～ 21日（金）13：30頃解散予定）

5. 場所：八幡平ハイツ

〒028-7302 岩手県八幡平市八幡平温泉郷

TEL.0195-78-2121 FAX.0195-78-2041

6. 費用：10,000円程度を予定（後日，旅費として支給されます。）

※1泊3食の宿泊，食事費用，情報交換会費用等が含まれます。

7. 主催：大学教育総合センター 教育評価・改善部門

プログラム（案）

■ 1日目：学生主体の問題解決型活動を授業に取り入れる

講師：岩手医科大学 解剖学講座（細胞生物学分野）教授
佐藤洋一先生

話題提供Ⅰ「カリキュラムに問題解決型授業（PBL）を取り入れる（仮）」

- ・PBL（Problem Based Learning / Project Based Learning）とは何か？
- ・プロセス重視タイプ：問題点抽出あるいは知識を得る方法・結果発表などの作業を体験し、問題解決のためのプロセスを身につける。
- ・プロダクト重視タイプ：具体例（シナリオ）を通じて、学んだ知識の応用方法を身につける。

プログラムⅠ 「現在行われている授業（講義）の問題点を考える」

- ・グループのうち半数を、「共通教育」、残りの半数を「専門教育」担当とする。
- ・共通教育（教養科目）の問題点を抽出する。
- ・専門教育の問題点を抽出する。

話題提供Ⅱ「導入教育・専門教育でのPBLの具体例紹介（仮）」

- ・初年次導入教育，専門教育におけるPBL活用の具体例の紹介
- ・医学導入教育「地域課題プロジェクト」の取り組み
- ・専門教育課程でのPBLの取り組み

プログラムⅡ「（問題点について）PBLを取り入れた解決方策を考える」

- ・プログラムⅠで抽出された問題点のうち，PBLの導入（部分的にでも）により解決できるものを考える。
- ・PBLを導入したカリキュラム案を考える。

※講師の佐藤先生との協議の過程で，上記に変更がある場合があります。

■ 2日目：学士課程教育で身につけさせる『学士力』について考える

プログラムⅢ「中教審答申に書かれている『学士力』を学ぶ」

- ・グループで分担して，中教審答申及び関連資料の『学士力』に関連する部分を読み，共有する。

プログラムⅣ「学生に身につけさせる『学士力』を考える」

- ・それぞれの教育プロセスでどのような『学士力』を身につけさせるのかを議論する。グループ毎に分担して「基礎ゼミナール（初年次導入教育）」「全学共通教育（教養科目）」「専門教育科目」「卒業研究」で身につけさせるべき『学士力』を議論する。

いわて高等教育コンソーシアム

岩手大学主催 平成 21 年度 F D 合宿研修会 参加申込書

申し込み先：いわて高等教育コンソーシアム事務局宛に、メール (ihatov5@iwate-u.ac.jp) または
Fax (019-621-6995) にてお申し込みください (平成 21 年 7 月 30 日必着)

ご氏名： _____

所属大学名： _____

職位*： _____

専門分野： _____

ご自宅住所*： _____

メールアドレス： _____

電話番号： _____

当日の集合希望場所*： 岩大 ・ 盛岡駅周辺 ・ 県大 ・ 盛大 ・ 八幡平ハイツ

希望場所に _____ をつけてください。

状況によってはご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

～ 振り込み口座については、岩手大学以外の方のみご記入をお願いいたします。～

振込銀行： _____ 銀行 _____ 支店

銀行コード (4 桁) : _____ 口座番号 : _____

預金種目： 普通・当座 (どちらかに ○)

名義人名： _____

*旅費計算を施行するうえで必須項目です。

後ほど、各大学担当事務を通じ、本 F D 研修に関する旅行 命令・依頼 伺に押印をいただく必要がございますので、ご協力をお願いいたします。